

食育事業取組報告書(佐々木小学校)

食育活動区分	(該当するものを口で囲む) 育てる・作る・食べる・返す	実施年月日	令和4年 4月7日 ～令和 4年 12月23日
教科名	1・2学年 生活科 / 3学年 社会科・総合的な学習の時間 5学年 社会科・総合的な学習の時間	指導者	1年 立川 小百合 2年 渡邊 賢 3年 藤田 妙子 5年 三代 大悟
単元名	1・2学年「やさいをそだてよう」 / 3学年「佐々木たんけんたい」 5学年「米作り」		
ねらい	発達段階に応じた理解で、食を支える農業の苦労や努力とともに、その育成や収穫の喜びを知り、自分の住む佐々木地区を中核として食への関心や食に対してかかわる態度を高める。		
児童・生徒の活動		支援・指導上の留意点	資料
<p>1・2学年「やさいをそだてよう」</p> <p>◇4月 野菜の苗や種の観察・栽培のし方調べ ・種のおおきさや形状を観察するとともに、栽培方法や配慮することを知る。小さな種や苗が大きくなることに期待を抱いた。</p> <p>◇5月～7月 野菜の栽培 ・野菜の先生として、用務さんからお話を聞き、種や苗を植えた。水やりをかかさぬことや虫がつく害を防ぐことなどに注意して栽培をした。</p> <p>◇6～7月、10月、12月 野菜の収穫・収穫物を生活に生かす工作 ・小さな種や苗が大きくなることを喜びとともに、しっかり手入れをする大切さを知った。普段食べている野菜が、大切に育てられたものであることを知り、普段食べている野菜なども大切にしていきたいと関心を高めた。</p>		<p>・1学年 さつまいもを育てる子どもたち</p> <p>・収穫の喜び</p> <p>・ツルもリースに</p>  <p>・2学年 野菜を育てる子どもたち</p> <p>・収穫の喜び</p> 	
<p>3学年「佐々木たんけんたい」</p> <p>◇4月 佐々木の良さを調べる計画を立てる ・佐々木に田畑が多いことを知り、どのような農業をしているのか、学ぶ計画を立てる。</p> <p>◇5月～6月 ・ピーツを栽培している農家さんと協働で、収穫体験とウクライナから避難している方へピーツを送る。食と農を通して、喜びを創り出せることを知り、食と農の大切さを実感するとともに、田畑の多い身近な佐々木の良さを発見・再認識した。</p>		<p>・ピーツの収穫をする子どもたち</p> <p>・ピーツに同封した手紙</p>  <p>・ピーツを市長に届ける子どもたち</p> 	
<p>5学年「米作り」</p> <p>◇5月 ・地域、JA佐々木地区青壮年部の方々の協力のもと、田植えを実施。 ・田植えまでにも様々な苦労があることを知り、普段食べているお米に対する苦労を知った。</p> <p>◇9月 ・地域やJA佐々木地区青壮年部の方々の協力のもと、稲刈りを実施。 ・大変な努力によって、普段の私たちの食が支えられていることを知った。 ・おいしいお米の炊き方を調べる。新米を味わい、お米の良さを実感した。</p> <p>◇10月～12月 ・努力や苦労のもと収穫された喜びを、よりたくさんの方と味わいたい、佐々木のお米の良さを地域の方に知ってもらいたいと、全校やお世話になった方、新しく佐々木に来る新入学生生に家庭に配付するよう計画した。佐々木のよさをアピールする手作りのラベルを作り、配付した。 ・食と農を通して、佐々木の良さを実感し、分かち合いたいと意欲を高めた。</p>		<p>・田植え</p> <p>・稲刈り</p> <p>・収穫を知らせる展示</p>  <p>・ラベルづくりや配付準備</p> 	
成果と課題	<p>・低学年では、自分の野菜を自分の学校で育てるという、ごく身近での食と農を体験した。小さな種苗が大きくなり、いくつもの実をつける驚きや喜びを体験するとともにその世話の努力や苦労のもとに収穫の喜びがあることに気づき、食と農への関心を高めることができた。</p> <p>・3学年では、ピーツによるウクライナの方への支援を通して、食と農が人々の喜びを創り出すという可能性を実感できた。また、地域の良さを再認識できた。</p> <p>・5学年では、米作りを通して、普段見ている田園風景への見方が変わり、稲作の大変さや大切さに気付くことができた。食と農を通して、佐々木の良さを実感し、分かち合いたいと意欲を高めた。</p> <p>・各発達段階に応じながら、佐々木ならではの食育を計画しようとした。しかし、ピーツは今年度の時事的な内容で継続性がないため、来年度の新計画が必要である。また、お米に関しては、より食と農への感謝の気持ちを醸成するため「感謝プロジェクト」を、年度当初から計画するなどの担当が見通しをもった単元構想を推進する必要がある。</p> <p>・計画が持続可能になるための計画の見直しと蓄積、地域人材の整備が必要である。</p>		
家庭・連携地域	<p>・今年度も新型コロナウイルス感染対策のため、保護者・地域の方々とのおふれあいを十分に行うことができなかった。</p> <p>・今年度も、感染症感染対策は十分に行いながらも、少しずつ地域の方とのふれあいを増やしていけるよう計画する。</p> <p>・今年度は、新しくご協力いただいた地域の農家さんと連携ができた。今後も、佐々木地区の食と農に係る人材を探し、よりたくさんの方との連携をとっていきたい。</p>		